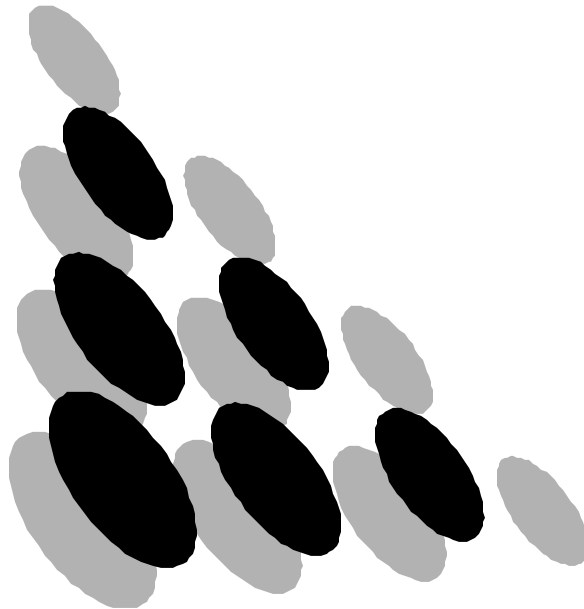
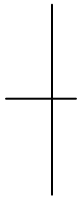


P3FY-0170-01

PRIMERGY/GRANPOWER5000

サーバマネージメントアシストボード
(GP5-SMB102)

取扱説明書



 FUJITSU



はじめに

このたびは、弊社のサーバマネージメントアシストボード GP5-SMB102（以降、本製品と記述）をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は、本製品の取扱方法を説明しています。

本書をご覧になり、本製品を正しくお使いいただきますよう、お願いいたします。

2000年5月

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

本文中、Intel® LANDesk® Server Manager は、LDSM と略して記述しています。

Intel、LANDesk は、Intel Corporation の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

安全にお使いいただくために

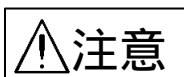
本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の冒頭の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。本書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印として、以下のマークとともに表示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

重 要

「重要」では、効率的な使い方や間違いやすい点についての警告など、あなたにとって価値のある情報であることを示しています。



感電

本製品をサーバ本体に着脱する際には、安全のためサーバ本体および接続されている装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。本製品の AC アダプタの電源プラグもコンセントから抜いてください。電源をいれたまま本製品の着脱を行うと、装置の故障・発煙などが起こる可能性があり、また感電の原因となります。

禁止

- ・ 本製品は精密に作られていますので、高温・低温・多湿・直射日光など極端な条件での使用・保管は避けてください。また、製品を曲げたり、傷つけたり、強いショックを与えたりしないでください。故障・火災・感電の原因となることがあります。
- ・ AC アダプタを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- ・ 濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・ AC アダプタが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ AC アダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。

分解

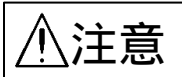
本製品を勝手に改造しないでください。火災・感電の原因になります。

プラグ

近くで雷が発生したときは、電源ケーブルやモジュラーケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては装置を破壊し、火災の原因となります。

警告

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などは、小さなお子様が出て飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところにおいてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



禁止

- ・ マニュアルに記載されていない AC アダプタは使用しないでください。また、AC アダプタの改造・分解はしないでください。火災・けがの原因となります。
- ・ 使用中の AC アダプタは、布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となります。
- ・ 電源プラグを抜くときはケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルの芯線が露出したり切断したりして、火災・感電の原因となることがあります。

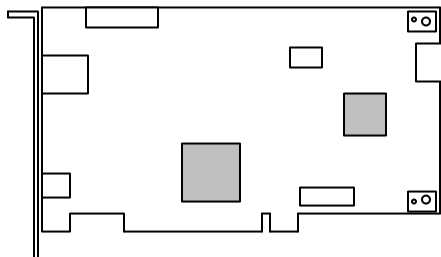
指示

- ・ AC アダプタの電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となります。
 - ・ 本製品をご使用にならない場合は、静電気防止のため付属の梱包袋へ入れて保管してください。
-

梱包物の確認

本製品には以下のものが梱包されています。お使いになる前に必ずご確認ください。
万一、足りないものがございましたら、恐れ入りますが担当営業員までお申しつけください。

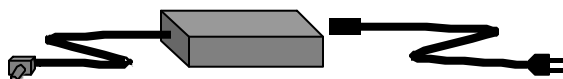
PCI カード



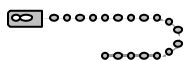
パネル制御ケーブル (4 ピン - 4 ピン)



AC アダプタ (本体 + 電源ケーブル)



ビーズバンド



保証書

取扱説明書 (本書)

本書の表記について

■ 本文中の表記

本文中では、以下の表記・記号を使用しています。

サーバ本体

本製品を取り付けるサーバのことです。

▶ポイント

本文中の内容を補足することが書いてあります。

目 次

第 1 章	本製品について	1
1.1	特 長	1
1.2	名称と働き	2
<hr/>		
第 2 章	本製品の取り付け	3
2.1	作業をはじめるまえに	3
2.1.1	用意するもの	3
2.1.2	確認すること	3
2.2	取り付け	4
2.2.1	PCI カード / 内部ケーブルの取り付け	4
2.2.2	LAN ケーブルの取り付け	7
2.2.3	AC アダプタ / 電源プラグの取り付け	8
2.2.4	システム資源の設定	9
2.2.5	デバイスドライバのインストール	10
2.3	取り外し / 交換	11
2.4	その他の注意事項	12
<hr/>		
付録 A		13
A.1	仕 様	13
A.2	管理コンソール	14

MEMO

第 1 章 本製品について

この章は、本製品の特長、各部の名称について解説しています。

1.1 特 長

本製品は、関連ソフトウェア（REMCS エージェント、RAS 支援サービス、LDSM/Servervisor）と連携し、サーバのリモートサポートサービスを提供するためのハードウェア製品です。

本製品は、以下の機能をサポートしています。

- REMCS エージェントのファームウェア自動適用サービスをアシストします。
 - サーバに異常が発生したことを REMCS センタに通知します。
 - ファームウェア自動適用サービス処理監視による異常
 - RAS 支援サービスの起動監視による異常（* 1）
 - LDSM/Servervisor のウォッチドックタイマによる異常（* 1）
 - サーバの電源投入不可、抑止による異常（* 1）
- （* 1）各機能のサポートは、サーバ本体により異なりますので、サーバ本体添付の取扱説明書を参照してください。

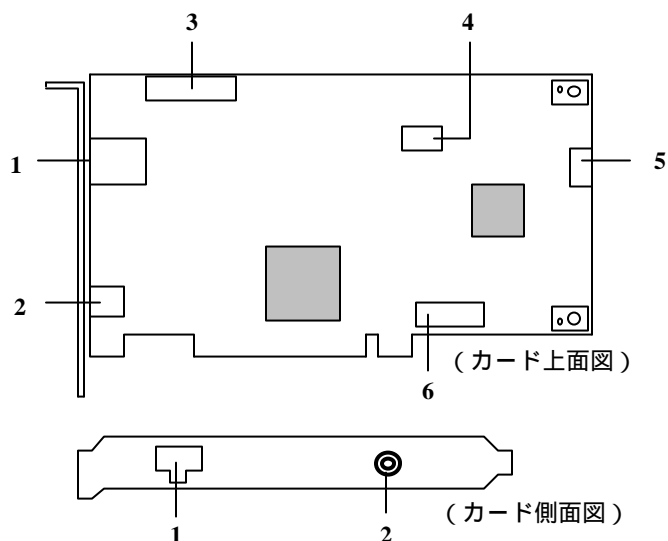
本製品の関連ソフトウェアである REMCS エージェントについては、『REMCS エージェント運用ガイド』を参照してください。

本製品の関連ソフトウェアである RAS 支援サービスについては、サーバ本体添付の取扱説明書を参照してください。

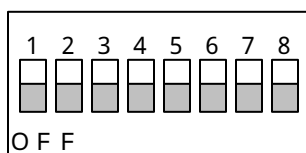
本製品の関連ソフトウェアである LDSM/Servervisor については、LDSM/Servervisor に添付のマニュアルまたはオンラインマニュアルを参照してください。

1.2 名称と働き

ここでは、本製品の PCI カードの各部の名称と働きを解説します。



- 1 LAN ケーブル用コネクタ
非シールド・ツイストペアケーブルを接続します。
- 2 外部電源用コネクタ
AC アダプタを接続します。
- 3 サーバモニタモジュール拡張機能用コネクタ
サーバモニタモジュールと同時搭載時にサーバモニタモジュールの拡張機能用ケーブルを接続します。
- 4 デバッグコネクタ
未使用。
- 5 パネル制御コネクタ
パネル制御ケーブルを接続します。
- 6 コンフィグレーションスイッチ
すべて OFF。



第 2 章 本製品の取り付け

この章は、本製品をサーバに取り付ける方法を解説しています。

2.1 作業をはじめるまえに

本製品をサーバへ取り付ける作業をはじめるまえに、あらかじめ以下の準備を行ってください。

2.1.1 用意するもの

作業をはじめるまえに、以下のものをご用意ください。

- サーバ本体添付の取扱説明書
- プラスドライバー
- LAN ケーブル (10Base-T)

2.1.2 確認すること

作業をはじめるまえに、以下の事項に該当するかどうかをご確認ください。

- サーバ本体にサーバモニタモジュールが取り付けられている、または本製品とともに取り付けようとしている

さらに、作業を始める前に、サーバ本体添付の取扱説明書にある内蔵オプションの取り付けについての記述をご参照ください。特に、以下の事項についてご確認ください。

- 本製品を搭載可能な PCI スロットの位置
- 本製品のパネル制御ケーブルのサーバ本体側への接続方法

2.2 取り付け

ここでは、本製品の取り付け手順について説明します。
取り付けをはじめるまえに、本書の「2.1 作業をはじめるまえに」を参照し、必要な作業を行ってください。

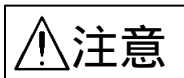
2.2.1 PCIカード / 内部ケーブルの取り付け

はじめに、本製品のPCIカードと内部ケーブルを取り付けます。



感電

本製品をサーバ本体に着脱するときは、安全のためサーバ本体および接続されている装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。本製品のACアダプタの電源プラグもコンセントから抜いてください。電源をいれたまま本製品の着脱を行うと、装置の故障・発煙などが起こる可能性があり、また感電の原因となります。



指示

- ・ サーバ本体のカバーの取り外し、取り付けを行うときは、サーバ本体添付の取扱説明書にしたがって作業を進めてください。
- ・ 本製品の素子やコネクタピンなどにはなるべく触れないでください。静電気により、本製品が故障することがあります。
- ・ 本製品は静電気の影響を受けやすいので、導伝パッドなどの上に置くか、取り扱う直前まで梱包袋に入れておいてください。

取り付け手順

1. サーバ本体添付の取扱説明書を参照し、サーバのカバーを取り外します。
2. サーバ本体に既にサーバモニタモジュールが搭載されている場合は、サーバ本体とサーバモニタモジュールを接続している拡張機能用ケーブルのサーバ本体側コネクタを抜きます。サーバモニタモジュール側コネクタは接続したままにしておきます。
サーバモニタモジュールが搭載されていない場合は、この作業は必要ありません。

重 要

サーバ本体のサーバモニタモジュール拡張機能用コネクタから抜いたサーバモニタモジュールの拡張機能用ケーブルのサーバ本体側コネクタは、あとで本製品のサーバモニタモジュール拡張機能用コネクタに接続します。

3. 本製品のパネル制御ケーブルをサーバ本体に接続します。
サーバ本体添付の取扱説明書を参照し、パネル制御ケーブルをサーバ本体に接続します。
4. 本製品の PCI カードをサーバの PCI スロットに取り付けます。
サーバ本体添付の取扱説明書の内蔵オプションの取り付けについての記述を参照し、本製品の PCI カードをサーバ本体の PCI スロットに取り付けます。
5. パネル制御ケーブルを本製品の PCI カードに接続します。
パネル制御ケーブルのもう片方のコネクタを本製品の PCI カードのパネル制御コネクタに接続します。(次ページ参照)

ポイント

パネル制御ケーブルの余長部分は、添付のビーズバンドでまとめてください。
パネル制御ケーブル、および、ビーズバンドが、FANや高温部分に接触しないようにしてください。

6. 取り付け手順 2 で抜いたサーバモニタモジュールの拡張機能用ケーブルを本製品の PCI カードのサーバモニタモジュール拡張機能用コネクタに接続します。(次ページ参照)
サーバ本体にサーバモニタモジュールが搭載されていない場合は、この作業は必要ありません。

ポイント

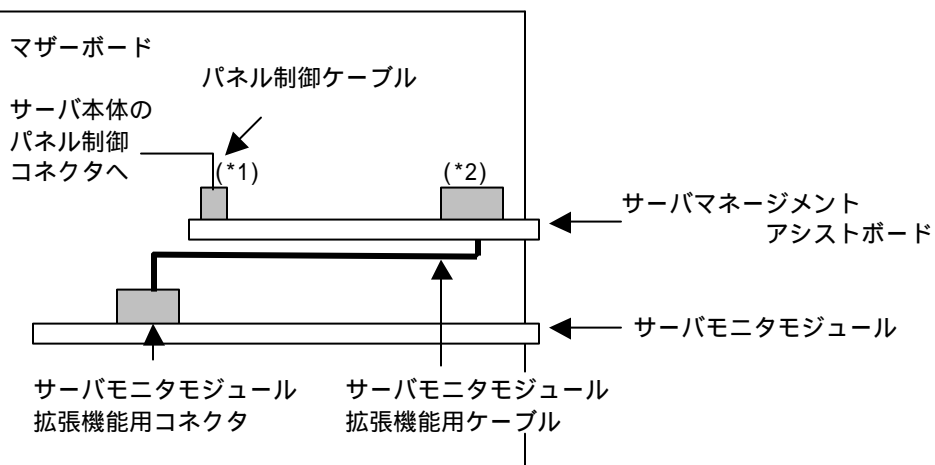
サーバモニタモジュールと本製品を同じサーバ本体で使用する場合は、サーバモニタモジュールの拡張機能用ケーブルによるサーバ制御機能は、本製品により中継されます。このため、サーバモニタモジュールの拡張機能用ケーブルは、サーバ本体の拡張機能用コネクタに接続するのではなく、本製品の拡張機能用コネクタに接続する必要があります。
サーバモニタモジュールの拡張機能用ケーブルが接続できないサーバ本体で使用する場合にも、拡張機能用ケーブルは、本製品の拡張機能用コネクタに接続してください。

7. サーバ本体添付の取扱説明書を参照し、サーバのカバーを取り付けます。

取り付け例

サーバモニタモジュールが搭載されている場合の接続例を図示しています。なお、サーバモニタモジュールが搭載されていない場合は、サーバモニタモジュール、および、サーバモニタモジュール拡張機能用ケーブルを取り付ける必要はありません。

[接続例]



(* 1) パネル制御コネクタ

(* 2) サーバモニタモジュール拡張機能用コネクタ

2.2.2 LANケーブルの取り付け

本製品の PCI カードと内部ケーブルをサーバ本体に取り付けたあとで、本製品に LAN ケーブルを接続します。

取り付け手順

1. LAN ケーブル (10Base-T) を本製品に接続します。
用意した LAN ケーブルのコネクタを、本製品の LAN ケーブル用コネクタに接続します。
2. LAN ケーブル (10Base-T) を中継機器に接続します。
用意した LAN ケーブルのもう片方のコネクタを、10Base-T のハブやルータなどの中継機器に接続します。

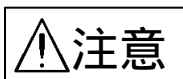
2.2.3 ACアダプタ / 電源プラグの取り付け

本製品をサーバ本体に取り付け、LAN ケーブルなどの外部ケーブルを取り付けたあとで、本製品のACアダプタを接続し、サーバ本体および周辺装置の電源プラグを接続します。



禁止

- ・ ACアダプタを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- ・ 濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・ ACアダプタが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ ACアダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- ・ マニュアルに記載されていないACアダプタは使用しないでください。また、ACアダプタの改造・分解はしないでください。火災・けがの原因となります。
- ・ 使用中のACアダプタは、布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となります。

取り付け手順

1. ACアダプタを本製品に接続します。
本製品のACアダプタの本体と電源ケーブルを接続し、さらにACアダプタを本製品の外部電源用コネクタに接続します。
2. 本製品のACアダプタの電源プラグをコンセントに接続します。
3. サーバ本体および接続されている装置の電源プラグをコンセントに接続します。

重要

本製品は、ACアダプタからの電源供給またはサーバ本体からの電源供給で動作しますが、リモート保守運用で行なうサーバ本体の電源切断 / 再投入、および、サーバ本体の電源投入監視を実現するためにACアダプタの接続が必要です。また、信頼性の向上のため、本製品のACアダプタの電源プラグは、サーバ本体の電源プラグを接続した電源と別の電源に接続してください。

2.2.4 システム資源の設定

本製品をサーバに取り付けてサーバを起動すると、自動的にシステム資源（I/O ポートアドレス、メモリアドレス、DMA チャンネル、割り込みレベル）が本製品に割り付けられます。しかし、本製品に割り付けることができるシステム資源には制約がある場合があります。サーバ本体添付の取扱説明書を参照し、システム資源の割り付けについての制約を確認してください。

さらに、本製品をサーバに取りつけたあとで、本製品に割り付けられたシステム資源を確認し、必要に応じて変更してください。本製品に割り付けるシステム資源の確認および変更の方法は、サーバ本体に添付の取扱説明書を参照してください。

2.2.5 デバイスドライバのインストール

本製品のデバイスドライバは、REMCS エージェント CD-ROM に同梱されています。インストール方法は、『REMCS エージェント運用ガイド』を参照してください。

2.3 取り外し / 交換

ここでは、本製品の取り外しおよび交換の手順について説明します。

取り外し手順

1. 本製品のデバイスドライバをインストールしている場合は、本製品を取り外す前に、本製品のデバイスドライバと監視エージェントを無効にします。『REMCS エージェント運用ガイド』の本製品の有効手順を参照し、無効にしてください。
2. 取り付け手順と同様にして本製品を取り外します。

重要

本製品の AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く作業は、サーバ本体および接続されている装置の電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。サーバモニタモジュールが搭載されている場合は、本製品のサーバモニタモジュール用拡張機能用コネクタから抜いたサーバモニタモジュールの拡張機能用ケーブルを、サーバ本体のサーバモニタモジュール拡張機能用コネクタに接続してください。

交換手順

1. 取り付け手順と同様にして本製品を取り外します。
2. 本書の「2. 本製品の取り付け」を参照し、本製品を取り付けます。

ポイント

本製品の交換時に、本製品のデバイスドライバをアンインストールおよび再インストールする必要はありません。

3. 『REMCS エージェント運用ガイド』を参照し、通信制御情報などの設定を行います。

重要

本製品の AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く作業は、サーバ本体および接続されている装置の電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

2.4 その他の注意事項

- 本製品によるサポートサービスを行うためには、通信制御情報などの設定が必要です。本製品のデバイスドライバのインストールが終了した後、『REMCS エージェント運用ガイド』に従って設定を行ってください。
- 本製品に対する設定の漏れや誤り、および、本製品の異常を監視するためには、本製品専用の監視エージェントが必要です。REMCS エージェント CD-ROM を使用して本製品のデバイスドライバのインストール/アンインストールを行いますと、監視エージェントも同時にインストール/アンインストールされます。
- 管理端末で本製品の管理コンソールをご使用になる場合には、LDSM 6.0 L41 以降の Server Manager コンソールがインストールされている必要があります。本製品の管理コンソールのインストール/アンインストール方法は、本説明書の「付録 A.2 管理コンソール」を参照してください。

A

付録 A

A.1 仕様

品名	サーバ管理アシストボード
型名	GP5-SMB102
対応スロット	PCI バススロット
搭載 CPU	Motorola MPC850DE
搭載メモリ	不揮発性メモリ : 2MB DRAM : 4MB
Ethernet インターフェイス	10Base-T RJ45 × 1 ポート
温度センサ	1 個
電圧センサ	5 個 (PCI±12V/+5V/+3.3V、外部電源入力)
外部電源入力	DC 16V (1A 以上)
消費電力	5W 以下
寸法	長さ 210 mm × 幅 106 mm × 高さ 14 mm
質量	約 0.2Kg (但し、AC アダプタ約 0.3Kg を除く)
使用環境条件	サーバ本体の取扱説明書を参照のこと

A.2 管理コンソール

本製品の管理コンソールは、LDSM 6.0 L41 以降（以下、LDSM 6.0 と呼びます）の製品上で動作し、管理端末から本製品の状態を参照したり、本製品の異常が発生したことを管理端末に通知できるようにします。

本製品の管理コンソールの導入に必要なシステム環境、及び、インストール手順、アンインストール手順について説明します。

なお、LDSM の使用方法については、LDSM に添付のマニュアルまたはオンラインマニュアルを参照してください。

必要なシステム環境

- ・ 本製品のデバイスドライバが正しくインストールされていること。
- ・ 本製品の監視エージェントが正しくインストールされていること。
- ・ LDSM 6.0 の Server Manager コンソールが正しくセットアップされていること。
- ・ Administrator と同等の権限が割り当てられていること（Windows NT の場合に必要です。）
- ・ ハードディスクの空き領域が 1 MB 以上であること。

インストール手順

1. 管理コンソールをインストールする管理端末にログイン（Windows NT の場合は、管理者または同等の権限をもつユーザとして）します。
2. アプリケーションが実行中の場合は、すべて終了させます。
3. REMCS エージェント CD-ROM をセットし、「¥REMOTE¥FJSMBUTY¥SMBCSL」ディレクトリ配下の「SETUP.EXE」を実行します。セットアップを開始するメッセージが表示されます。
4. [はい] ボタンをクリックします。
セットアップが開始し、完了すると、セットアップを終了するメッセージが表示されます。
5. [OK] ボタンをクリックします。

アンインストール手順

1. 管理コンソールをアンインストールする管理端末にログイン（Windows NT の場合は、管理者または同等の権限をもつユーザとして）します。
2. アプリケーションが実行中の場合は、すべて終了させます。
3. REMCS エージェント CD-ROM をセットし、「¥REMOTE¥FJSMBUTY¥SMBCSL」ディレクトリ配下の「UNINST.EXE」を実行します。アンインストールを開始するメッセージが表示されます。
4. [はい] ボタンをクリックします。
アンインストールを開始します。アンインストールが完了すると、アンインストールを終了するメッセージが表示されます。
5. [OK] ボタンをクリックします。

重 要

LDSM 6.0 をアンインストールする場合には、LDSM 6.0 をアンインストールする前に、本管理コンソールのアンインストールを行ってください。

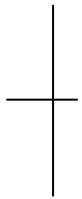
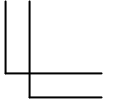
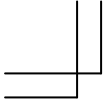
PRIMERGY/GRANPOWER5000
サーバマネージメントアシストボード
(GP5-SMB102)
取扱説明書
P3FY-0170-01

発行日 2000年5月
発行責任 富士通株式会社

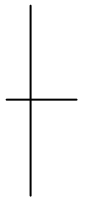
Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
無断転載を禁じます。
落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

⑦0001-1



FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

